

令和3年度 公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団

事業報告

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

[1] [療育指導事業 (子ども発達支援センター)]

さまざまな障がいのある子どもたちの主体的な発達を支援するために、子ども発達支援センター・こうべ、さんだ、はんしんにおいて、理学療法、作業療法、聴覚言語療法などを用いて働きかけをした。

(1) 通所訓練事業 (個別・グループ)

在籍児数	「子ども発達支援センター・こうべ」	295名
	「子ども発達支援センター・さんだ」	140名
	「子ども発達支援センター・はんしん」	26名
	計	461名
	(前年)	389名

[個別訓練]

月4回または月2回、個別で聴覚言語療法・理学療法・作業療法などを実施した。

計 459名

[グループ訓練]

月2回、グループによる [聴覚言語療法] を実施した。

○ 聴覚言語療法 「子ども発達支援センター・こうべ」 計 2名

訓練児内訳：

年齢別内訳		地域別内訳	
0歳～2歳	3名	神戸市	296名
3歳～5歳	73名	三田市	129名
6歳～8歳	196名	西宮市	12名
9歳～12歳	170名	尼崎市	7名
13歳以上	19名	川西市	5名
合計	461名	芦屋市	2名
		伊丹市	2名
		宝塚市	2名
障がい別内訳			
発達障がい	413名	明石市	2名
知的障がい	38名	加東市	2名
肢体不自由	5名	西脇市	1名
重複障がい	3名	多可郡	1名
構音障がい	1名		
その他	1名		
合計	461名	合計	461名

月4回の通所児 26名

月2回の通所児 435名

訓練費減額サービス利用人数 10名

## (2) 相談・指導事業

相談児内訳：

年齢別内訳		地域別内訳	
0歳～2歳	15名 (16名)	三田市	140名 (158名)
3歳～5歳	74名 (83名)	神戸市	79名 (93名)
6歳～8歳	71名 (77名)	尼崎市	4名 (4名)
9歳～12歳	50名 (62名)	宝塚市	2名 (2名)
13歳以上	19名 (23名)	西宮市	1名 (1名)
合計	229名 (261名)	明石市	1名 (1名)
		芦屋市	1名 (1名)
障がい別内訳		川西市	1名 (1名)
発達障がい	194名 (222名)		
知的障がい	24名 (27名)		
肢体不自由	3名 (3名)		
構音障がい	3名 (3名)		
重複障がい	2名 (2名)		
吃音	1名 (1名)		
その他	2名 (3名)		
合計	229名 (261名)	合計	229名 (261名)

\* ( ) は延べ人数

相談内容内訳：

相談内容			
発達評価	96名 (110名)	訓練評価	93名 (96名)
発達相談	35名 (38名)	不定期訓練	5名 (17名)
合計	229名 (261名)		

\* ( ) は延べ人数

相談費免除サービス利用件数 229件

## (3) 他団体への療育指導事業

療育支援の要請があった施設や学校に、訓練士が出向き、訓練や相談を行った。

派遣先	言語聴覚士	作業療法士	理学療法士
神戸市総合療育センター	10名/週	22名/週	11名/週
神戸市西部療育センター	10名/週	25名/週	9名/週
神戸市東部療育センター	8名/週	16名/週	5名/週
三田市立ひまわり支援学校小学部	1名/月	1名/月	1名/月
三田市立ひまわり支援学校中・高等部	1名/月	1名/月	1名/月
はりま自立の家 (宍粟市)	2名/週	3名/週	6名/週
しそう自立の家 (宍粟市)			1名/週
はんしん自立の家 (宝塚市)			6名/週
井口小児科・内科医院 (神戸市垂水区)	1名/週		
猪名川町療育事業	2名/週	2名/週	1名/週
ウエルネット三田	2名/月	2名/月	2名/月
こどもコミュニティケア (神戸市垂水区)	1名/週	1名/週	2名/週
すくすく学級 (芦屋市)		1名/週	
北播磨こども発達支援センターわかあゆ園 (加東市) ※	1名/週		

※令和3年10月～令和4年3月

週、月または年当たりの延派遣人数

#### (4) (第45回) ことばの巡回相談 (心身障害幼児言語巡回相談指導事業)

吃音や機能的構音障がいなども含めてニーズの掘り起こしをし、より多くの支援を必要とする子どもたちにサービスを提供した。

日 程：令和3年8月2日～8月31日

場 所：兵庫県下の健康福祉センター（保健所）および地域の保健センター 計7か所

指 導：当財団言語聴覚士

指導児数：30名

後 援：兵庫県

実施場所・日程実績内訳：

地域	実施場所	実施日程	人数	地域別 集計
西播	福崎町保健センター	8月6日(金)	5名	5名
東播	多可町健康福祉センター	8月6日(金)	1名	7名
	高砂市保健センター	8月19日(木)	6名	
但馬	香美町役場	8月17日(火)	6名	18名
	朝来市保健センター	8月17日(火)	1名	
	新温泉町保健センター	8月17日(火)	1名	
	豊岡市保健センター	8月18日(水)	10名	
合計	7か所		30名	

対象児年齢別内訳：

3歳未満	7名
3歳	5名
4歳	9名
5歳	6名
6歳	3名
7歳以上	0名
合 計	30名

障害別内訳：

言語発達遅滞	10名
構音障害	10名
知的障害	6名
発達障害	2名
知的障害	1名
特になし	1名
合 計	30名

#### (5) 療育研修会

療育の専門職や保護者が、多くの情報をもって、より質の高い支援をするために療育研修会を開催した。

##### <1> 重症心身障がい児・者への日常生活支援の実際

「日々の身体の動かし方と姿勢 ～安心できる姿勢、介入への一歩～」

日 程：令和3年5月29日(土)

場 所：オンライン配信(子ども発達支援センター・こうべより配信)

講 師：大野 尚人(当財団 理学療法士)

受講者：147名

受講者内訳：

地域別内訳		職種別人数	
兵庫県	18名	教員	29名
岐阜県	12名	理学療法士、保育士	各16名

大阪府	11名	作業療法士、指導員	各12名
北海道	8名	看護師	11名
岡山県	6名	言語聴覚士	5名
愛知県	5名	サービス管理責任者	3名
和歌山県、福井県、広島県 沖縄県	各4名	医師、生活支援員 介護職、事務職	各1名
埼玉県、三重県、滋賀県 福岡県、大分県、熊本県 鹿児島県	各3名	無回答	16名
長野県、宮崎県	各2名		
岩手県、静岡県、東京都 神奈川県、京都府、富山県 島根県、鳥取県、山口県 愛媛県	各1名		
無回答	13名		
かるがも園職員	8名	かるがも園職員	8名
財団職員	15名	財団職員	15名
合計	147名	合計	147名

<2> 「インターネットやゲームと上手に付き合っていく

～インターネット依存・ゲーム依存について～

※当初、計画していた“シェルボーン・ムーブメント(療法)入門コース(前期・後期)”

研修会が、参加者同士が身体接触を伴う実技講習が組み込まれている研修会であり、  
コロナ禍においては実施が難しいと判断したため、代替の研修会として実施した。

日程：令和3年12月7日(火)

場所：オンライン配信(こども発達支援センター・こうべより配信)

講師：片上 素久先生(大阪市立大学 医学研究科 臨床医科学専攻 講師  
大阪市立大学医学部附属病院 神経精神科 医師)

受講者：21名

受講者内訳：

地域別内訳		職種別内訳	
兵庫県	3名	言語聴覚士	2名
東京都、山形県、岐阜県	各1名	教員	2名
大阪府		作業療法士	1名
無回答	9名	小児科医	1名
		保育士	1名
		無回答	9名
財団職員	5名	財団職員	5名
合計	21名	合計	21名

<3> 発達障がい児への理解と日常生活支援

「学校生活に向けて幼児期にできること ～ソーシャルスキルを中心に～」

日程：令和4年1月5日(水)

場所：オンライン配信(こども発達支援センター・さんだより配信)

講師：井出 浩先生(浅野神経内科クリニック 精神科医)

受講者：61名

受講者内訳：

地域別内訳		職種別人数	
兵庫県	38名	指導員	26名
和歌山県	9名	作業療法士、保育士	各3名
大阪府	4名	保健士	2名
東京都	2名	教諭、介護職、医師	
岐阜県、広島県、鳥取県		児童発達支援管理責任者	各1名
徳島県	各1名	無回答	20名
無回答	1名		
財団職員	3名	財団職員	3名
合計	61名	合計	61名

<4> 親と子のシェルボーン・ムーブメント (療法)

「親子で遊ぼうシェルボーン・ムーブメント」

日 程：令和4年2月5日 (土)

場 所：オンライン配信 (子ども発達支援センター・さんだより配信)

講 師：平井 真由美先生 (「国際シェルボーン協会」認定インストラクター)

受講者：60名

受講者内訳：

地域別内訳		子どもの年齢別内訳	
兵庫県	22名	9歳	1名
東京都	4名	8歳	3名
大阪府	3名	7歳	2名
北海道、神奈川県、静岡県		6歳	1名
愛知県、京都府	各1名	5歳	4名
無回答	3名	4歳	6名
		3歳	6名
かるがも園保護者	12名	2歳	2名
かるがも園職員	5名	1歳	3名
財団職員	6名	無回答	15名
合計	60名	合計	43名*

※兄弟児等、複数回答を含む。

<5> 保護者のための療育講座

「家庭でできる支援について ～子どもの困ったことの背景と支援方法～」

内 容：発達の遅れや困り感を持つ子どもの保護者を対象に、保護者が子どもに対して家庭で困っていることに着目し、困り感をいくつかピックアップしてその背景とそれに関連した家庭での遊びやお手伝いなどを掲載した冊子を、2000部作成し、関係者、関係機関に配布した。

タイトル：子どもの「できた！」がふえる 家庭でできる支援について

保護者が家庭で感じている困り感の内容について

- ・食べこぼしが多い
- ・よく転んでしまう
- ・説明が分かりづらい
- ・発音がはっきりしない

監 修：井出 浩先生 (浅野神経内科クリニック)

佐浦 隆一先生 (大阪医科薬科大学)

医学部総合医学講座リハビリテーション医学教室 教授)

配布時期：令和4年3月より配布開始  
 助 成：兵庫県共同募金/NHK歳末たすけあい

< 6 > 重症心身障がい児・者への日常生活支援の実際

「重症心身障がい児・者への食事支援 ～持っている力を伸ばし、笑顔で食べられるように～」

日 程：令和4年3月19日（土）

場 所：オンライン配信（子ども発達支援センター・こうべより配信）

講 師：浅野 一恵先生（社会福祉法人 子羊学園 つばさ静岡 小児科医）

受講者：183名

受講者内訳：

地域別内訳		職種別人数	
兵庫県	25名	教員	42名
福岡県	20名	言語聴覚士	40名
大阪府、愛知県	各16名	作業療法士	20名
熊本県	10名	保育士	13名
広島県	7名	看護師	9名
岐阜県	6名	理学療法士	6名
北海道	5名	管理栄養士	3名
東京都、静岡県、宮崎県 三重県、新潟県、長野県 青森県、鳥取県、群馬県 京都府、奈良県	各4名  各3名	サービス管理責任者 栄養士・管理栄養士 保護者、児童指導員 生活支援員	各2名
香川県、愛媛県、沖縄県 大分県、埼玉県、山形県	各2名	医師、調理師、歯科医師 保健師、保健教諭 栄養教諭、介護福祉士	各1名
山口県、長崎県、徳島県 佐賀県	各1名	大学准教授、助教授 特別支援学校職員	各1名
無回答	2名	無回答	6名
かるがも園職員	11名	かるがも園職員	11名
財団職員	13名	財団職員	13名
合 計	183名	合 計	183名

(6) 講師の派遣

要請のあった団体（学校、幼稚園、保育所、療育施設など）に、職員を講師として派遣した。

派遣先	テーマ	受講者数	実施者
かるがも園 （保育所等訪問事業）	子ども療育講座 ・学習障害についての理解と具体的な支援 ・感情のコントロールが苦手な子どもの 具体的な支援	延べ93名	財団職員2名
全国障害者問題研究会 埼玉支部 「埼玉リハビリ問題 研究会」	日々の身体の動かし方と姿勢について	20名	財団職員1名

## (7) 実習生・研修生の受け入れ指導

言語聴覚士、作業療法士、理学療法士の養成機関より、依頼があった学校の学生を受け入れて、指導した。

種別	日程	学校名	人数	実習地
OT	兵庫医療大学 リハビリテーション学部 作業療法学科	令和3年6月7日 ～7月31日	1名	子ども発達支援センター・こうべ
	神戸医療福祉専門学校 三田校 作業療法士科	令和3年7月26日 ～10月1日	1名	子ども発達支援センター・さんだ
		令和3年8月2日 ～8月6日	1名	
		令和3年8月16日 ～8月20日	1名	
		令和4年2月28日 ～3月11日	1名	
		令和4年3月18日 ～4月1日	1名	
関西医療大学 保健医療学部 作業療法学科	令和3年2月28日 ～3月4日	1名	子ども発達支援センター・こうべ	
ST	神戸医療福祉専門学校 三田校 言語聴覚士科	令和3年5月31日 ～6月25日	1名	子ども発達支援センター・さんだ
		令和3年6月28日 ～7月21日	1名	
	関西総合リハビリテーション専門学校 言語聴覚学科	令和3年6月28日 ～7月21日	1名	子ども発達支援センター・こうべ
	姫路医療専門学校 言語聴覚士科	令和3年8月23日 ～9月17日	1名	子ども発達支援センター・こうべ
		令和3年11月8日 ～11月26日	1名	
		令和3年11月29日 ～12月17日	1名	
		令和4年1月31日 ～3月11日	1名	
神戸総合医療専門学校 言語聴覚士科	令和3年10月18日 ～11月15日	1名	子ども発達支援センター・こうべ	

## (8) 児童発達支援・放課後等デイサービス

◎通所児：児童発達支援	10名 (週)
放課後等デイサービス	10名 (週)
計	20名

### ◎保育所等訪問支援

障がいのある子どもが通う小学校、幼稚園を訪問し、集団生活における子どもへの適切な支援について関係者と情報共有を行った。

訪問事案件数：4件

(9) 三田市障害児療育センター（児童発達支援センターかるがも園）

◎児童発達支援（かるがも園）

就学前の障がいのある子どもに対して、一人一人に合わせた専門的な療育を行うとともに、保育スタッフと訓練士が協力して多角的な支援を行った。

在籍児数	かるがも園（週5日単独通園）	20名
	すくすく教室（週1～2親子通園）	24名
	たけのこクラブ（週1日並行通園）	23名
	計	67名
	（年間延べ	5,474名）

通園児・訓練の状況

年齢別内訳		個別訓練	
0歳児	1名	理学療法	119回
1歳児	7名	作業療法・感覚統合療法	515回
2歳児	14名	聴覚言語療法	174回
3歳児	24名	グループ訓練	
4歳児	15名	聴覚言語療法	39回
5歳児	6名	作業療法	34回

◎保育所等訪問支援（かるがも訪問支援）

障がいのある子どもが通う小学校、幼稚園を訪問し、集団生活における子どもへの適切な支援について関係者と情報共有を行った。

訪問事業件数：5件                      相談事業：2件

◎相談支援事業（かるがも相談支援）

家族や関係機関等の相談に応じて必要な情報提供を行い、連携して課題解決にあたった。また、定期的にモニタリングを実施して利用者に合わせたプランの提案を行った。

在籍児・者数	障害児相談支援	212名
	計画相談支援	5名
	計	217名

相談支援の状況

指定相談支援事業		基本相談	
新規計画作成	17件	電話相談	205件
計画作成	218件	訪問相談	7件
モニタリング	203件	来所相談	25件
		その他	11件

◎一時預り事業（のびのびクラブ）

家族の就労や休息等により預りが必要な子どもに対して、かるがも園の保育終了後に一時預りを行った。

実利用人数：11名      （年間延べ利用児童数：101名）

◎その他の事業

研修の実施

内容	実施日程	対象
かるがも園の療育について	4月22日(木)	保護者17名
運動遊びの発達への効果	12月16日(木)	保護者25名
学習障害についての理解と具体的な支援	8月28日(土)	関係者33名
感情のコントロールが苦手な子どもの具体的な支援	9月18日(土)	関係者53名
きょうだいのための保護者研修会	1月21日(金)	保護者 7名

実習生の受け入れ

学校名	時期	受入人数
兵庫教育大学 学校教育学部	令和3年 8月	1名
湊川短期大学 幼児教育保育学科	令和4年1・2月	4名
神戸松蔭女子学院大学 教育学部教育学科	令和4年 2月	1名
聖和短期大学 保育科	令和4年 2月	1名

[2] [激励支援事業]

(1) 第21回 サマースクール

日 程：令和3年7月29日(木)

場 所：三田市野外活動センター

内 容：仲間と一緒に川遊びを楽しみながら、“泳ぎたい” “魚を見つけない”等、“〇〇したい”  
という気持ちを引き出し、子どもたちの主体性や協調性を育む支援をした。

援 助：神戸市社会福祉協議会 障害者福祉基金 フェスピック事業助成

参加児：小学生 21名 スタッフ11名 学生ボランティア2名

参加児内訳：

地域別人数		学年別人数	
神戸市	11名	1年生	4名
三田市	7名	2年生	2名
芦屋市	1名	3年生	4名
西宮市	1名	4年生	4名
伊丹市	1名	5年生	4名
		6年生	3名
合計	21名	合計	21名

(2) 第42回 夏のレクリエーションツアー

日 程：令和3年10月2日(土)

場 所：キッズニア甲子園

内 容：東播・神戸地域の障がいのある子どもたちと家族を対象に、楽しみながら仕事にチャ  
レンジし、社会のしくみを学ぶことができる「キッズニア甲子園」へのツアーを開催  
した。

援 助：兵遊協福祉基金

神戸市社会福祉協議会 児童福祉基金 唐川民間社会福祉団体事業助成

物品寄贈：丸中製菓株式会社・サントリー酒類株式会社・アサヒフーズ株式会社

参加者：子どもと家族 51家族 143名 スタッフ 10名

参加者内訳：

地域別人数		年齢別人数 (対象児・者)	
神戸市	35家族 (96名)	3～5歳	16名
三田市	9家族 (26名)	6～8歳	29名
尼崎市	2家族 (6名)	9～12歳	4名
加古川市	2家族 (6名)	13～15歳	2名
加古郡	2家族 (5名)		
明石市	1家族 (4名)		
合計	51家族 (143名)	合計	51名

### (3) 少林寺拳法連盟「KHSCさんだ」冬季レクリエーション

日 程：令和3年12月12日 (日)

場 所：有馬富士公園 (有馬富士山頂)

内 容：子ども発達支援センター・さんだの少林寺拳法教室の参加者が、体力づくりと仲間の絆を深めるために、有馬富士にて耐寒ウォーキングを行った。

参加者内訳：中学生1名 成人拳士7名

### (4) 子どもたちの個性を育てる活動

身体活動をとおして、子どもたちの身体能力の発達と精神的な発達を支援した。

中学生・高校生クラブは、将来の社会参加を見据えて、社会適応能力を養った。

場所：子ども発達支援センター・さんだ

活動	実施曜日	登録人数	活動回数	延参加人数
トランポリン	毎週火・木曜日	27名	92回	713名
リズム体育教室	第2・4水曜日	8名	21回	140名
少林寺拳法	毎週日曜日	7名	31回	131名
中学生クラブ	月1回土曜日	4名	13回	29名
高校生クラブ	月1回土曜日	2名	12回	20名
自然体験クラブ	月1回土曜日	22家族	15回	484名

### (5) 西宮ストークス バスケットボール 試合招待 Kids Dream Project

プロバスケットボールチーム、西宮ストークスの選手が子どもたちと家族を試合にご招待くださいました。感染防止のため、試合観戦後の選手との交流はなかったが、西宮ストークスのマスコットキャラクター・ストーキーと写真撮影の機会を設けていただいた。

招待日程：令和3年12月4日 (土) 西宮市立中央体育館 12家族 38名

令和4年3月19日 (土) 西宮市立中央体育館 8家族 21名

### (6) 他団体事業援助

子どもたちの発達援助のために、他団体が開催している事業に援助をした。

・日本シェルボーン協会活動支援

## (7) 海外療育支援事業

令和3年10月に、公益財団法人PHD協会の「ミャンマー基金」に寄付を届けた。

## [3] [愛護思想啓発事業]

### (1) 啓發文書の発行

- ① 令和2年度 事業報告書  
発行日：令和3年5月 発行数：3,000部
- ② 短報の発行  
発行日：令和3年9月 発行数：1,800部  
令和4年3月 発行数：2,100部
- ③ 「財団だより48号」(機関紙)  
発行日：令和3年11月 発行数：3,000部

### (2) 令和3年度 療育募金

期 間：令和3年5月～令和4年3月

内 容：子ども発達支援センターの「初回相談料無料」や「非課税世帯への訓練費減免」のため、年間の療育活動に対する募金を行った。

協力団体・個人：

ロータリークラブ	9	その他団体	63
ライオンズクラブ	1	個人	25
社会福祉協議会	3		
合 計			101件

### (3) 令和3年度「サマープログラム募金」

期 間：令和3年5月～12月

内 容：「夏のレクリエーションツアー」「ことばの巡回相談」「サマースクール」「少林寺拳法教室夏季レクリエーション」を実施するために募金を行った。

協力団体・個人：

ロータリークラブ	6	その他団体	57
ライオンズクラブ	1	個人	22
社会福祉協議会	4		
合 計			90件

### (4) 賛助会員の募集

期 間：通年

内 容：個人や団体に向けて、障がいのある子どもたちへの理解を深めていただき、子どもたちの活動を支援して下さる「賛助会員」を募った。

協力会員数：1,159名（前年1,094名）

#### (5) チャリティーボックス募金

期 間：通年

内 容：医院やホテル、飲食店などにチャリティーボックスを設置してもらい、募金を呼びかけた。

設置協力数：326ヶ所

#### (6) 子ども未来応援募金

期 間：通年

内 容：家庭用のチャリティーボックス（募金箱）を配布し、個別寄金を募った。

協力者数：6件

#### (7) 令和3年度 歳末募金

期 間：令和3年12月～令和4年1月

内 容：障がいのある子どもたちを支援する活動を、継続的に進めるために、個人・団体に向けて、歳末の寄付のお願いを呼びかけた。

協力数：758件（前年度645件）